日本アクア | 1429

Sponsored Research

2025年11月10日



政策追い風で高断熱需要拡大、25/12期Q3は2桁増収 増益を達成

サマリー

■ 現場発泡ウレタン断熱施工国内トップシェアの高成長企業

日本アクア(以下「同社」という)は、「人と地球に優しい住環境を創ることで社会に貢献」という経営理念のもと、断熱・防水技術を通じてエネルギー効率の向上と持続可能な社会の実現に貢献する事業を展開している東証プライム市場に上場する企業である。現場発泡ウレタン断熱施工においては国内トップシェアを有しており、戸建部門、建築物部門、防水部門を3本の柱として事業を展開。2013年の上場以来、決算は連続増収を記録中であり、CAGRは10.8%の高成長企業である。

■ 2025/12期Q3 決算

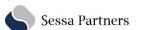
2025/12期Q3累計(1~9月)は、売上高24,288百万円(前期比16.7%増)、営業利益1,740百万円(同14.4%増)、経常利益1,753百万円(同13.3%増)、四半期純利益1,186百万円(同13.7%増)となり、2期ぶりに大幅な増収増益を達成した。セグメント別では、主力の戸建部門が断熱等級「6」への関心高まりを背景に11,299百万円(同16.7%増)と堅調であった。大手ビルダー向けの受注拡大や新規大口顧客案件が寄与した。建築物部門もデータセンターや高層マンション案件が増加し、7,211百万円(同11.7%増)を計上。防水部門は独自の「FUKUGEN工法」による施工が拡大し、1,111百万円(同155.0%増)と急伸した。一方、原料販売は1,420百万円(同0.8%減)と横ばい、その他部門(副資材・機械等)は3,246百万円(同15.4%増)と好調に推移した。

■ 2025/12期 通期業績予想

通期業績予想は据え置き、売上高34,360百万円(前期比13.5%増)、営業利益3,004百万円(同16.6%増)、経常利益3,062百万円(同17.6%増)、当期純利益2,067百万円(同12.4%増)を見込んでいる。省エネルギー基準の義務化やZEH・GX ZEH水準の引き上げ方針などの政策動向を追い風に、高断熱・高気密住宅や省エネ型建築物への需要拡大を見込むとしており、住宅・非住宅双方の市場で堅調な成長が続く見通しである。SIRでは今後取材後にフォローアップレポートを発行する予定である。

決算期	売上高	YoY	営業利益	YoY	経常利益	YoY	当期純利益	YoY	EPS	DPS
	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(円)	(円)
2022/12期	25,670		2,329		2,360		- 1,549		47.99	24.00
2023/12期	28,342	10.4%	2,882	23.7%	2,917	23.6%	2,004	29.4%	63.83	32.00
2024/12期	30,265	6.8%	2,576	-10.6%	2,604	-10.7%	1,840	-8.2%	58.55	34.00
2025/12期(会予)	34,360	13.5%	3,004	16.6%	3,062	17.6%	2,067	12.4%		35.00
2024/12期Q3	20,817		1,521		1,548		- 1,043		33.23	
2025/12期Q3	24,288	16.7%	1,740	14.4%	1,753	13.3%	1,186	13.7%	37.19	

出所:決算発表資料よりSIR作成 注:SIRでの財務データ処理は短信規定と異なるため記載数字は会社資料と相違することがある。



03 Flash



チームカバレッジ





本レポートは当該企業からの委託を受けてSESSAパートナーズが作成しました。詳しくは巻末のディスクレーマーをご覧下さい。



ディスクレーマー/免責事項

本レポートは対象企業についての情報を提供することを目的としており投資の勧誘や推奨を意図したものではありません。本レポートに掲載されたデータ・情報は弊社が信頼できると判断したものですが、その信憑性、正確性等について一切保証するものではありません。

本レポートは当該企業からの委託に基づきSESSAパートナーズが作成し、対価として報酬を得ています。SESSAパートナーズの役員・従業員は当該企業の発行する有価証券について売買等の取引を行っているか、または将来行う可能性があります。そのため当レポートに記載された予想や分析は客観性を伴わないことがあります。本レポートの使用に基づいた商取引からの損失についてSESSAパートナーズは一切の責任を負いません。当レポートの著作権はSESSAパートナーズに帰属します。当レポートを修正・加工したり複製物の配布・転送は著作権の侵害に該当し固く禁じられています。

